

## 府中市福祉計画策定のための調査 障害福祉分野

### 調査概要・回収結果

#### 1 調査目的

本調査は、障害者福祉に関する意見や要望を把握することにより、府中市福祉計画（障害者計画）の策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

#### 2 実施概要

本調査では次の4種類のアンケートを行った。

区分	調査名	対象者	サンプリング	調査方法	調査時期
調査1	障害等のある人への調査	市内の18歳以上の障害者手帳所持者、自立支援医療受給者証所持者、特定医療費受給者証所持者 【配布数】 2,300人 【内訳】 ①身体障害者 1,216人 ②知的障害者 334人 ③精神障害者 325人 ④自立支援医療受給者 100人 ⑤難病患者 325人	①市内に居住する18歳以上の身体障害者手帳所持者を無作為抽出 ②市内に居住する18歳以上の愛の手帳所持者より無作為抽出 ③市内に居住する18歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者より無作為抽出 ④市内に居住する18歳以上の自立支援医療受給者証所持者より無作為抽出 ⑤市内に居住する18歳以上の特定医療費受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収（督促礼状1回）	
調査2	子どもの育ちや発達に関する調査	市内の18歳未満の障害者手帳所持者、特定医療費受給者証所持者、障害児通所給付費受給者証所持者の保護者 【配布数】 1,000人 【内訳】 ①身体障害児 125人 ②知的障害児 494人 ③精神障害児 62人 ④難病患者 9人 ⑤児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証所持者 310人	①市内に居住する18歳未満の身体障害者手帳所持者 ②市内に居住する18歳未満の愛の手帳所持者 ③市内に居住する18歳未満の精神障害者保健福祉手帳所持者 ④市内に居住する18歳未満の特定医療費受給者証所持者 ⑤市内に居住する18歳未満の児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収（督促礼状1回）	令和元年 10月25日 ～ 11月11日
調査3	障害者福祉関連団体調査	市内の障害者福祉団体 11団体	市内の障害者福祉団体（当事者団体・家族会）	郵送配布・回収（督促礼状1回）	
調査4	障害福祉サービス事業所調査	市内の障害福祉サービス事業所 296事業所	市内の障害福祉サービス事業所	郵送配布・回収（督促礼状1回）	

### 3 回収数（率）

区分	調査名	発送数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)
調査1	障害等のある人への調査 身体障害者	2,300	1,423 (61.9%)	1,419 (61.7%)
調査2	子どもの育ちや発達に関する調査	1,000	651 (65.1%)	651 (65.1%)
調査3	障害者福祉関連団体調査	11	8 (72.7%)	8 (72.7%)
調査4	障害福祉サービス事業所調査	295	204 (69.2%)	201 (68.1%)

(参考) 平成 25 年度調査の回収数（率）

区分	調査名	発送数	回収数 (回収率)	有効回収数 (有効回収率)	
調査1	障害のある 人の調査	身体障害者	2,000	1,401 (70.1%)	1,394 (69.7%)
		知的障害者	500	311 (62.2%)	311 (62.2%)
		精神障害者	400	253 (63.3%)	253 (63.3%)
調査2	難病のある人の調査	300	228 (76.0%)	228 (76.0%)	
調査3	障害者福祉関連団体調査	11	9 (81.8%)	9 (81.8%)	
調査4	障害福祉サービス事業所調査	40	29 (72.5%)	29 (72.5%)	

## 4 調査項目

### (1) 調査1 障害等のある人への調査

【凡例】

・前回調査：障 障害のある人の調査  
 難 難病患者調査

調査項目	問番号	設問	前回調査 問番号
A 基本属性	F1	記入者	障・難:F1
	F2	(1)性別、(2)年齢	障・難:F2
	F3	居住地域	障・難:F3
	F4	同居者	障・難:F4
	F5	所持する手帳(手帳の程度)、自立支援医療の受給の有無 および特定医療費受給者証を受給している対象の疾病	障・難:F5
	F6	身体障害者手帳に記載された項目	障・難:F6
	F7	障害・難病が生じた時期	障・難:F7
	F8	(1)収入源、(2)年収	新規/障・難:F8
B 住まい	問1	住居形態	障・難:問1
	問2	住居について困っていること(1)設計・設備、(2)住宅事情	障・難:問2
	問3	住居の困りごとに対して希望する支援	新規
C 日常生活	問4	日常生活の状況(ADL等)(1)~(11)	障・難:問3
	問5	介助の状況	障・難:問4
	問5-1	(1)介助を頼める人、(2)主な介助者	新規
	問5-2	公的サービスによる介助の頻度	障・難:問4-2
	問5-3	家族等介助の頻度	障・難:問4-1
D 障害福祉サービスの利用	問6	障害福祉サービスの利用状況、利用意向(1)~(8)	障:問5・難:問8
	問6-1	障害福祉サービスの満足度	新規
	問6-2	サービスの不満な理由	新規
E 日ごろの活動	問7	外出の頻度	障:問6,7・難:問5,6
	問8	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度	新規
	問8-1	不満な理由(バリア等)	障:問8・難:問7
F 就労	問9	現在の仕事	障・難:問9
	問9-1	仕事上の不安	障・難:問9-3
	問9-2	仕事をしていない理由	障・難:問9-4
	問10	今後したい仕事	障・難:問10
	問11	障害のある人が働くために希望すること	障・難:問11
G 相談・権利擁護	問12	相談できる人の有無	問14
	問12-1	相談先	問14-1
	問13	市内の相談機関等の認知度・利用状況(1)~(4)	障:問15
	問14	市内の相談機関等に求めること	新規
	問15	後見人等にやってほしいこと	新規
	問16	成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと	新規
H 防災	問17	緊急時の単独避難	障:問16・難:問15
	問18	具体的な援助者	障:問16-2 ・難:問15-
	問19	災害時の不安や心配ごと	障:問17・難:問16
	問20	避難場所で希望する配慮	新規
	問21	災害時に協働で進める地域の支え合い	障:問18・難:問17
	問22	災害対策としてふだんから行っていること	障:問19・難:問18
I 医療	問23	入院経験の有無	新規
	問23-1	退院するにあたっての困りごと	新規
	問24	現在受けている医療	障:問23・難:問22
	問24-1	通院での困りごと	障:問23-2 ・難:問22-2

調査項目	問番号	設問	前回調査 問番号
J 地域・共生社会	問 25	近所づきあいの現状	障・難:問 12
	問 26	(1)~(8)の項目について ①地域で頼みたいこと、②頼まれたらできること	新規
	問 27	地域活動への参加程度	障・難:問 13
	問 27-1	参加している地域活動の種類	障・難:問 13-1
	問 27-2	参加しない理由	新規
	問 28	今後参加したい、継続して参加したい地域活動	新規
	問 29	市民のノーマライゼーションの理解	障:問 24・難:問 23
	問 29-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか	変更 障:問 24-1 ・難:問 23-1
	問 30	必要とする合理的配慮	新規
	問 31	地域の一員として安心して自分らしい暮らしができていますか	新規
	問 31-1	自分らしい暮らしができていない理由	新規
K 施策	問 32	充実を望む施策	障:問 26・難:問 25
	問 33	市への要望<自由回答>	障:問 27・難:問 26

## (2) 調査2 子どもの育ちや発達に関する調査

### ① 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	備考
A 基本属性	F1	記入者	
	F2	居住地域	
	F3	宛名のお子さんの(1)性別、(2)年齢	
	F4	宛名のお子さんが所持する手帳(手帳の程度)、特定医療費受給者証の有無(対象疾病)、児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証(利用中のサービス)	
	F5	身体障害者手帳に記載された項目	
	F6	宛名のお子さんに障害・難病が生じた時期	
	F7	宛名のお子さんの同居者	
B 通園・通学	問1	通園・通学先	旧問 1-1
	問1-1	通園・通学での困りごと	
C 住まい	問2	住居形態	
	問3	住居について困っていること(1)設計・設備、(2)住宅事情	
	問4	住居の困りごとに対して希望する支援	
D 介助の状況	問5	介助の状況	
	問5-1	(1)介助を頼める人、(2)主な介助者	
	問5-2	公的サービスによる介助の頻度	
	問5-3	家族等介助の頻度	
E 福祉サービスの利用	問6	福祉サービスの利用状況、利用意向(1)～(15)	
	問6-1	福祉サービスの満足度	
	問6-2	支援を受ける上での困りごと	
F 育ちや発達の状況	問7	不安や疑問を感じた時期	
	問8	どこ(誰)かに相談したか	
	問8-1	相談して、不安や疑問が解消したか	
	問9	発達障害に関する診断の有無	
	問10	市内の相談機関等の認知度・利用状況(1)～(5)	旧問 26
	問11	ライフステージに応じた支援として希望すること	
	問12	お子さんの将来の希望	
G 防災	問13	災害時の不安や心配ごと	
	問14	災害対策としてふだんから行っていること	
	問15	避難場所で希望する配慮	
	問16	災害時に協働で進める地域の支え合い	
H 医療	問17	現在何らかの医療的ケアを必要としているか	
	問17-1	現在必要とする医療的ケア	
	問17-2	医療的ケアの実施にあたっての困りごと	
I 地域・共生社会	問18	市民のノーマライゼーションの理解	
	問18-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか	
	問19	必要とする合理的配慮	
	問20	地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じるか	
J 施策	問21	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度	
	問21-1	不満な理由(バリア等)	
	問22	充実を望む施策	
	問23	市への要望<自由回答>	
K 保護者の状況	問24	主な養育者	
	問25	保護者の年齢	
	問26	保護者の就労状況	
	問27	(1)収入源、(2)世帯の年収	
	問28	近所づきあいの現状	他分野共通
	問29	相談できる人の有無	他分野共通
	問29-1	相談先	
問30	養育の負担感・ストレス等軽減のために重要なこと(3つ)		

### (3) 調査3 障害者福祉団体調査

#### ① 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	前回調査問番号
A 活動状況	問1	団体の名称・連絡先	問1
	問2	会員数、運営に携わっている人数	問2
	問3	活動拠点の有無	問3
	問3-1	活動拠点の具体的な場所<自由回答>	問3-1
	問4	運営経費の収入源	問4
	問5	活動の担い手の現在の充足度と今後の充実意向 (1)活動する上で足りているか、(2)今後の充実に向けて	新規
	問5-1	活動の担い手を増やすための取り組みの有無	新規
	問5-2	活動の担い手を増やすための具体的な取り組み内容<自由回答>	新規
	問6	活動する上で困っていること	問5
B 相談支援体制	問7	市の相談支援体制に望むこと<自由回答>	問6
C 災害時の支援	問8	災害時に心配なこと、支援としてあったらよいこと<自由回答>	問7
D 制度の谷間の問題	問9	地域での制度の谷間の問題<自由回答>	問8
E 地域共生社会 づくりに向けた 協力意向	問10	地域共生社会に向けた市民向けの意識啓発に協力できること <自由回答>	問9
	問11	地域共生社会に向けて、意識啓発以外にも協力できること <自由回答>	新規
F 障害福祉施策 について	問12	障害者に対する合理的配慮として、特に必要なこと<自由回答>	新規
	問13	バリアフリーの施策で期待すること<自由回答>	新規
	問14	市の障害福祉施策への意見・要望<自由回答>	問10

#### (4) 調査4 障害福祉サービス事業所

※各設問は、法人または事業所のいずれの立場で回答するのか分かる尋ね方をする。

調査項目	問番号	設問	前回調査問番号
A 活動状況	問1	事業所の活動状況 (名称等、組織形態、実施事業、対象事業の定員数・利用者数、 【新規:必要性を感じている実施していない事業・その理由】)	問1
B サービス提供体制	問2	具体的なサービス提供量	問2
	問3	インフォーマルサービスに対する利用者ニーズ<自由回答>	新規
C 今後の事業運営	問4	昨年度の事業の採算(1)事業所、(2)法人	問3
	問5	運営上の不安	問4
	問6	サービスを実施する上での問題	問5
	問7	人材確保に向けての課題	新規
	問8	今後5年間の事業規模拡大予定	問6
	問9	今後5年間の利用者受入れ余裕	問7
D 利用者本位のしくみ	問10	権利擁護のために取り組んでいること	問8
	問11	苦情・意見等を取り入れるため、工夫していること	問9
	問12	第三者評価の実施の有無	問10
	問12-1	実施の予定はない理由	問10-1
	問13	障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること	問11
	問14	サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験 (虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答>	新規
E 地域共生社会 づくりに向けた 協力意向	問15	地域共生社会に向けた市民向けの意識啓発に協力できること <自由回答>	調査3 問9
	問16	地域共生社会に向けて、意識啓発以外にも協力できること <自由回答>	新規
	問17	災害時に事業所として協力できること	問12
F 力を入れている点	問18	最も力を入れていること<自由回答>	問14
	問19	利用者に対して特に力を入れていること<自由回答>	問15
G 市への要望	問20	市の障害福祉サービス充実に向けて必要なこと	問16
	問21	障害福祉サービスについての要望<自由回答>	問17
	問22	利用者や家族から寄せられた意見、要望<自由回答>	問16